

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス コンパス金  
沢文庫教室

対象人数(保護者)38人 回答者数 32人 回収 84.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	7	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	5	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	3	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	5	1
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	4	
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	32		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2	1
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	2	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	5	1
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	21	4
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	17	1
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	2	1
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	3	
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	3	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	17	11
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	10	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	3	
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	3	2
非常時 等の 対応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	4	2
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	9	1
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	13	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	8	
満足 度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	7	
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	32		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	9	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	29	2	1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	40%	10%	
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	20%	20%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%	0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%	0%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	70%	30%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10%	80%	10%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%	0%	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	70%	30%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	30%	20%	
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	30%	10%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	70%	20%	10%	
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	60%	30%	10%	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	40%	60%	0%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	70%	20%	10%	
	21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	70%	20%	10%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10%	40%	50%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10%	60%	30%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20%	60%	20%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	60%	20%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	50%	40%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%	50%	0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90%	10%	0%	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	50%	30%		
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	70%	30%	0%	
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%	0%	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	60%	30%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	30%	60%	10%	
	35	個人情報に十分注意しているか	70%	30%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90%	10%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10%	50%	40%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40%	60%	0%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	50%	50%	0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	40%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20%	80%	0%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%	30%	10%	

職員による自己評価

**A 環境面**  
 ・バリアフリー化の配慮が適切かどうかの質問に対し「はい」との回答が多かった。  
 ・利用定員と職員の配置は、「どちらともいえない」「いいえ」と感じる職員が多かった。

**B 児童への支援内容**  
 ・活動プログラムの立案、固定化をしないように工夫をしているとの質問に「はい」が多いが、非常勤の職員から活動や支援についての質問にたいして、「どちらともいえない」との回答が多い。

**C 関係機関との連携**  
 ・社会資源、関係機関との連携は「どちらともいえない」「いいえ」との回答が多く事業所としても定期的に行えていない。

**D 保護者への説明責任・信頼関係**  
 ・苦情の対応や保護者との意思疎通や情報伝達の配慮、個人情報に十分注意しているとの認識が多かった。

**E 非常対応**  
 ・マニュアルが教室の職員に浸透していない。  
 虐待・非常災害等研修の機会があるが、実働訓練が少ない現状である。

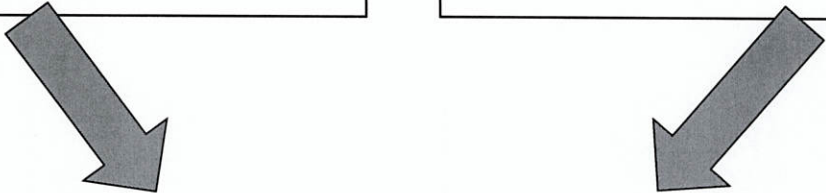
保護者による評価

**A 環境面**  
 ・活動スペース・人員配置・生活空間が心地よい、バリアフリー化の配慮が適切かどうかの質問にたいして「はい」との回答が多かった。

**B 児童への支援内容**  
 ・個別支援計画書に基づき、適切な支援が行われるとの回答が8割あったが、活動のプログラムにたいしては、固定化がされている意見もあがった。

**C 事業所からの情報発信**  
 ・情報発信については、どの質問に対しても「はい」との回答が多かった。保護者参観は、年に1～2回開催をしているが、実施されている印象が薄い

**D 非常対応**  
 ・春・秋に2回避難訓練を実施しているが、保護者への認識は「どちらともいえない」との回答が、半数以上あった。



事業所内での分析

**【共通点】**  
 ・(環境)保護者の方や職員の方からバリアフリー化の配慮がなされているとの認識がある。  
 ・(支援)活動のプログラムの立案、固定化されないように工夫をしていることが、働いている職員側から上がり保護者からも工夫をされていると認識されていた。個別支援計画書に基づき適切な支援も行われていると認識されている。  
 ・(情報発信)支援、情報発信、意思疎通の伝達について事業所側も保護者の方も、「はい」と回答が多かった。

**【相違点】**  
 ・(情報発信)保護者参観の実施は、年に1～2回行われているが実施されている印象が低い。  
 ・(非常対応)避難訓練は、事業所は実施しているが保護者の方の認識が低い。  
 通年通して虐待やアレルギー対応、感染症対応等の研修を実施しているが職員の認識が薄い。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

・(支援)放課後等ディサービスのガイドライン、個別支援計画書に基づき、提供すべき支援、具体的な支援が提供されていると保護者の方が認識して頂いている。プログラムにおいては、教室にいるお子さんの特性・学年を考慮し、また保護者様からプログラムに関してご要望・ご意見があった際に職員間で共有し、どのような形で支援に結びつけることができるか話しあう時間を設けている。

・(情報発信)教室から保護者への配布物や、契約書等変更の書類がある際は、事前に書面の内容の重要項目を職員間で共有してから発信するように心がけている。また、保護者からきた連絡は、迅速に対応をすること、即答できない内容に関しても、返信をし時間を空けないように丁寧な対応に努めている。

### 事業所の改善点

- ① (支援)他の児童等の交流について
- ②(支援)家族支援プログラムペアレントトレーニング
- ③(情報発信)保護者同士の交流会について
- ④(非常時対応)非常災害の訓練について

### 事業所の改善への取り組み

- ① (支援)他の児童等の交流については、同法人の放ディ事業所が近隣にあるが、うまく活用が出来ていないため、教室の管理者間で話し合いプログラムの一環として取り入れる。また、教室外のイベントの情報を収集しプログラムに組み、他の児童等の交流を行いたいと考えている。
- ②ペアレントトレーニングは、行えていない現状もあるため、まずはペアレントトレーニング研修等を取り入れ職員のスキル向上を目指す。その後、モニタリング面談時等を通して希望される保護者の方から優先的に取り入れ実施していく。
- ③保護者同士の交流会は、希望されない保護者のかたも多いため、少人数で行う保護者参観を通して交流をして頂くのが望ましいといえる。そ少しでも多く保護者参観に参加して頂ために、2ヶ月前に、保護者参観の日程を保護者の方に周知する。
- ④非常災害の訓練は、行う月に保護者の方にお知らせ・実施後の共有が必要であると考えている。BCPの訓練も実施後、事業所で決まったことなど、お知らせや手紙を通して情報を発信する。(定期的に年に2回情報を更新する)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所名 コンパス金沢文庫教室

担当者 及川 みなみ